

第 7 0 回鎌ヶ谷市都市計画審議会（書面開催）における参考意見及び質問

NO	参考意見及び質問	回答
1	【本県の都市づくりについて】 本県は首都圏に隣接しそこで働く人々の居住空間であること。そのため、そこにつながる道路網が重要だとして鉄道網はどうか。	千葉県では、鉄道やバスなどの公共交通は、通勤・通学はもとより、まちづくりや産業・観光を支える重要な社会資本であると考えております。 なかでも、東葛・湾岸広域都市圏は、人口密度が高く、鉄道網の発達により主要駅周辺を中心に、都市機能が集積した地域となっています。 今後も、東京に隣接し、成田・羽田両空港の中間に位置する立地を生かし、鉄道等の広域的な公共交通ネットワークの充実・強化を図り、東京、成田空港間の「人・モノ・財」の流れを商業及び観光業など様々な分野に取り込みながら、多様な産業と都市機能の一層の充実を図り、首都圏での都市間競争における更なる優位性向上を図ることが必要であると考えております。
2	【災害に強いまちづくりについて】 南海トラフ沖地震については、明記しても良いのではないか。	南海トラフ巨大地震、千葉県北西部直下地震、房総半島東方沖日本海溝沿い地震などが想定されております。 南海トラフ地震に関しましては、千葉県内において南海トラフ地震防災対策推進地域に指定された市町村が含まれる、香取・東総、九十九里、南房総・外房の広域都市計画マスタープランで「首都直下地震、南海トラフ地震など、巨大地震・・・」としておりますが、東葛・湾岸広域都市計画マスタープランにおいては、これらの想定地震を包含する意味は持たせつつ、本文においては「首都直下地震など、巨大地震」という記載としております。